

心を動かす作品とは？～音楽と心情の変化との関係～

音楽班:山本 雪月花、山本 萌香、平山 愛乃、中場 萌花、石井 美桜

Abstract

The aim of the present study was to make entertainment such as film and theater more enjoyable. Experiments showed that there were differences in the speed of the tempo of the songs in terms of emotions. Therefore, the study concluded that the speed of the tempo should be varied according to the emotion to be expressed.

要約

本研究の目的は、映画や舞台などの娯楽をより楽しめるようにすることである。実験によって、感情における曲のテンポの速さに違いがみられるということがわかった。従って本研究では、表現したい感情によってテンポの速さを変化させることが結論付けられた。

1. はじめに

音楽と心情の関係を調査した先行研究から、音楽と心情に関する関心が急激に高まりさまざまな研究がなされていることを知った。これを発展させて、音楽とシーンとの関係を調査することによって、自分が今求めている感情に合った映画や舞台などが明確にわかり、感動がどのように生まれるのかを知り、より映画や舞台芸術を楽しめるようになり、現在の多忙な日本人への娯楽になるのではないかと考えた。この研究では、映画や舞台などの演技と使われている音楽と、その音楽によって人々が感じる心持ちの関係について調査した。低音が多い曲が使われているシーンは怒りや悲しみの感情になり、高音が多い曲が使われているシーンは喜びや楽しい感情になり、また、テンポが早い曲が使われているシーンは怒りや喜びの感情になり、テンポが遅い曲は悲しみや楽しい感情になり、さらに、リズムが細かい曲は喜びや怒りの感情になり、リズムがゆったりしている曲は悲しみや楽しい感情になることが多いと考えていた。

2. 研究手法

様々なケースの音楽と心情の変化についての調査をするためにアンケートをとり、どのような傾向が見られるかアンケート結果を分析した。研究上まとめづらいので、多くの回答を得ず必要な分だけアンケートを取った。

《実験1》

①被験者に今までで印象に残っている舞台、ドラマ、映画の中のシーンと、そのシーンで流れている曲、その曲を聞いて喜怒哀楽のどの感情のイメージを持ったかを問い、作品のタイトル名を答えてもらう。

②その結果を喜怒哀楽でそれぞれまとめる。

《実験2》

①喜怒哀楽それぞれの感情について、その場面で使われている曲のテンポを調べ、その平均を求め表にまとめる。

Largo(ラルゴ)	幅広く、ゆるやかに	音符=40～60
Larghetto(ラルゲット)	やや遅く	音符=60～66
Adagio(アダージョ)	ゆっくりと	音符=66～76
Andante(アンダンテ)	歩くような速さで	音符=76～108
Moderato(モデラート)	控えめなスピードで	音符=108～120
Allegro(アレグロ)	快速に	音符=120～168
Presto(プレスト)	急いだスピードで	音符=168～200
Prestissimo(プレスティッシモ)	極めて速く	音符=200～208

3. 結果

《実験1》

全部で44件の回答を得ることができた(複数選択あり)。**【哀】**の曲を回答している人が最も多く、18件であった。二番目に**【喜】**の13件、三番目に**【楽】**の9件、最も少ないのは**【怒】**の4件であった。

《実験2》

【喜】は平均117、**【怒】**は平均120、**【哀】**は平均98、**【楽】**は平均132となり、**【楽】**が最もテンポが速く、**【哀】**が最も遅いことがわかった。

	テンポ	音の高さ	リズム
喜	117	—	—
怒	120	—	—
哀	98	—	—
楽	132	—	—

4. 考察

結果を踏まえて、音楽のテンポの速さを変えることで聞く人の受け取る感情も変わると考えた。例えば、**【哀】**の感情を音楽で表現するためには、テンポを遅くすることが有効的だと考えられ、**【楽】**の感情を音楽で表現するためには、テンポを速くすることが有効的だと考えられる。

5. 結論

仮説では、**【怒】****【喜】**の曲のテンポが速く**【哀】****【楽】**の曲のテンポが遅いとしたが、実際は**【哀】**の曲のテンポが他の3つの感情の曲よりも大幅に最も遅く、**【喜】**・**【怒】**の曲が次に遅く、**【楽】**の曲が一番テンポが速いという結果になった。また、《実験1》より**【哀】**の曲を回答している人が一番多かったので、**【哀】**の曲は人々の印象に残っていると分かった。考察から、音楽のテンポの速さを変化させることが、聞く人の受け取る感情を変える要因の1つであることが分かった。テンポだけでなく音の高さとリズムについても調べたかったが、調査した曲の中で楽譜がある曲が少なかったので調べることができなかった。また、音楽と映画や舞台などのシーンを重ねて考えることは時間と映画や舞台などの映像の資料が必要のためこの短期間ではできなかった。なのでこれらの課題を後で解決すべきだと分かった。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

大出訓子、今井篤、安藤彰男、谷口高士著(2009)『音楽聴取における“感動”の評価要因—感動の種類と音楽の感情価の関係』

https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=9251&item_no=1&page_id=13&block_id=8

音楽コラム集 | 音楽知識系コラム【コラム】音楽の仕組み #24 テンポについて

https://www.studio Noah.jp/book/2014/11/_24/